

Fuji Champion Race Series Round 2

Super FJ Round 2



S-FJ 第2戦は予選はウェット路面で行われた。小雨の中トップタイムを出したのは19 ZAPSPEED 10V ED 小松圭祐 2' 04.001、だったがペナルティで3番グリッドからのスタート。ポールポジションは開幕戦優勝の36 アルビGIA 玉三郎 10V ED 深村匠となった。決勝スタート時にはスターティンググリッドに並ぶ時には本降りだったが、スタート時には小降りになってきた。スタート直後は激しいトップ争い、4番手スタートの22 ペースメーカー 150WM10V 赤堀憲臣が1周目にはトップで戻ってくるが2周目には36 深村がトップを奪い返す。3番手争いも終始熾烈な争いをやっているうちにトップ2台はバトルをしながら徐々に後続を引き離した。最初にチェッカーを受けたのは36 深村。2位には22 赤堀、3位には9番グリッドから18 ZAPSPEED・ED 飯嶋郁陽が入った。36 深村は「初優勝！とても嬉しい。最初は滑る路面でしたが周りの動きを見ながら考えて走りました。今日はいろいろなことを冷静に判断できました」とコメント。



RESULT リザルト Super FJ

Rank No.	Name
1	36 深村 匠
2	22 赤堀 憲臣
3	18 飯嶋 郁陽
4	20 加納 亨介
5	37 草野 貴哉
6	45 Chang Lutaο

N1400/N1000/DEMIO(N1) Round 2



予選でポールポジションを決めたのはN1400 21 スノコμDL マリン AID82 大竹直 2'15.171、フロントローには、26 すぐる with 東車協青年部 EP82 斎藤和実 2' 15.336。N1000 は 41 マルチィ 2 クラフト SCP10 佐藤英二 2'23.049、デミオは 103 R.P.M/H 2'26.868 となっている。決勝ではグリッドに並んだ頃また小雨が落ちてきた。路面はハーフウェットでスタートが切られ、開始直後は21 大竹が押さえたものの毎周回トップが替わるような好レースが繰り広げられ、N1000 クラスでもトップ5台が激しいバトル。途中、所々で完全にウェット路面になったりと難しい10週のレースを制したのはN1400 26 斎藤、N1000 41 佐藤、デミオ 103 R.P.M/H だった。26 斎藤は「予選と同じ調子でいきました。途中からけっこう降ってきましたがドライのまま頑張った！」と話し、41 佐藤は「トップ5台くらいのバトル、皆でとても楽しかった！」と話していた



RESULT リザルト DEMIO(N1)

Rank No.	Name
1	103 R.P.M/H
2	8 大谷 淳

RESULT リザルト N1400

Rank No.	Name
1	26 斎藤 和実
2	72 高橋 ノボル
3	78 大沢 雄哉
4	56 梅田 敏
5	47 堀川 宗一郎
6	91 上山 敦裕



RESULT リザルト N1000

Rank No.	Name
1	41 佐藤 英二
2	51 清水 悠祐
3	54 垣生 彬
4	83 松本 英之
5	2 あおき みのる
6	49 菅野 良男

ROADSTER CUP NA6/NA8/NB8

Round 2



毎回クラスが入り乱れて激戦が展開されるこのカテゴリー、今回ポールポジションを獲得したのは NB8 11 Joy アクレ Motys☆NB8 戸田裕一 2' 07.783、フロントローには NA8 のトップ 1 大山ベリーアクレ MotyNA8 山形卓が 2' 08.122 で並び、すぐ後ろには NA8 昨シーズンチャンピオンの 0 裕也眼科ケンオートベリー NA8 の小原健一、並ぶのは NA6 トップの 7 大山ベリーアクレ MotyNA6 茂木文明 2' 08.279 と今回も激戦の予感。決勝ではやはりスタートから並ぶように 1 コーナーへ全車飛び込み、最初に戻ってきたのは 1 山形、しかしトップ 3 台の差は常に 1 秒以内という好バトル。4 周目には 11 戸田がトップを奪い返し 8 週のレースを制した。NA8・総合優勝の 11 戸田は「久々のポールトゥウィンで良かった！」と話し、NA8 トップの 1 山形は「すごく大変でしたが楽しかったです」とコメント NA6 7 茂木は「オープニングラップでミスしてしまい、ヒヤヒヤでしたが勝ててよかった」とコメントしていた。



RESULT リザルト NA6

Rank No.	Name
1	7 茂木 文明
2	23 山川 稷
3	5 入江 直
4	27 野木 強



RESULT リザルト NA8

Rank No.	Name
1	1 山形 卓
2	88 山田 健介
3	81 勝とう 常時



RESULT リザルト NB8

Rank No.	Name
1	11 戸田 裕一
2	91 神谷 誠
3	78 赤石沢 清人
4	3 羽入 大輔
5	33 田辺 浩一
6	100 芹澤 祥宏

AE111/ROADSTER

Round 2



接戦が続くこのカテゴリーも今回は第 2 戦目。予選でトップタイムだったのは、AE111 91 MAS・IDI・DL・レビン 船木周一で 2' 03.402 のタイム、フロントローには開幕優勝の 78 MAS91K/F/・IDI トレ 窪田範明が並び、ロードスターでは 8 i-MAGICμロードスター 福永健二の 2' 09.791 がトップ。こちら開幕優勝の 1 コーンズロードスター 大野俊哉が隣に並んでいる。決勝ではスタート直後から両クラスとも激しいトップ争い、AE111 は 5 周目に 78 窪田がトップに立つが、最後までバトルは続き 0.5 秒差でトップチェッカーを受けるが、ペナルティで降格。優勝は 18 速心 ACRE 塩岡スピードレビン 塩岡雅敏が優勝。2 位に 91 船木、3 位に 78 窪田という結果になった。ロードスターはさらに僅差の 0.05 秒差で 8 福永が優勝、2 位に 1 大野、激しい 3 位争いの結果 43 アクレ C-i ロードスター 大井正伸が表彰台をゲットした。8 福永は「暑かったー！ たまたまセッティングがよく出来て勝つことが出来ました。大野さんに勝てた」と話していた



RESULT リザルト AE111

Rank No.	Name
1	18 塩岡 雅敏
2	91 船木 周一
3	78 窪田 範明
4	32 松川 智泰
5	76 石井 京子



RESULT リザルト ROADSTER

Rank No.	Name
1	8 福永 健二
2	1 大野 俊哉
3	43 大井 正伸
4	81 安達 陽平
5	4 武居 剛
6	24 田辺 良輔

NISSAN GT-R Prestige Cup Round 1



今シーズンは全4戦で行われるこのカテゴリー、今回が開幕戦でSUGOと富士で開催される。土曜日の午前中に行なわれた公式予選はハーフウェットでのタイムアタック。トップタイムを出したのは賞典外だが2'01.918の10 藤井誠暢、2'02.349で20田中哲也と続く。2'02.612の23 スリーワイズGT-R 前川佳紀がそこに迫るタイムを出し、スターティンググリッドは10藤井、23前川がフロントロー、賞典外の20田中は最後尾からの追い上げとなる。決勝スタート時には雨も上がり、ドライコンディションでのスタートとなった。快調に周回を重ねる10藤井、23前川も引き離されまいと追うが徐々に差は広がる。トップ4台が数秒間隔でコントロールラインを通り過ぎるがその後ろの4位争いが終始続いた。優勝は23前川、2位に34 air-J GT-R 内田康之、3位には8 SwiftWing GT-R 岸本裕之という結果となった。23前川は「藤井選手の胸を借りようと思っていたのですが、やはり速いですね、引き離されてしまいました」と話していた。



RESULT リザルト GT-R

Rank No.	Name
1	23 前川 佳紀
2	34 内田 康之
3	8 岸本 裕之
4	21 YUGO
5	7 濱野 賢一

Porsche GT3 Cup Challenge Japan 2015 Round 3&4



富士・もてぎ・岡山を転戦し、全10戦行なわれるこのカテゴリー。今回は第3・4戦が開催されCup- I クラスが15台、Cup- II とOPENクラスは各1台、合計17台のエントリー。まず土曜日に行なわれた予選でのトップタイムはCup- I 86 SUNRISE GT3 CUP 福田幸平 1'46.255、フロントローには9 KDC車楽 997GT3Cup 小林賢二が並ぶ。好スタートでトップを押さえる86 福田、その後ろでは2番手争いが激しくそれを尻目に徐々に86福田が引き離す形でトップチェッカーを受けた。

第3戦の結果でグリッドが決まる第4戦では86 福田に32 ナインレーシングGT3 永井秀貴、12 雷神997GT3Cup Aquira Stanley、11 KRM SARAYAMA 997 FUKUJIROの 上位4台がびたりとついて激しいトップ争い、オープニングラップで12 Aquira Stanleyがトップに立つと毎周回コンマ差でコントロールラインを越えていったが10週のレースは12Aquira Stanleyが優勝。2位は11 FUKUJIRO、3位に9 小林賢二という結果になった。



RESULT リザルト Cup I

Rank No.	Name
1	86 福田 幸平
2	11 FUKUJIRO
3	12 Aquira Stanley
4	9 小林 賢二
5	84 Masa TAGA
6	32 永井 秀貴

RESULT リザルト Cup II

Rank No.	Name
1	44 島下 泰久

RESULT リザルト Open

Rank No.	Name
1	99 佐野 新世



RESULT リザルト Cup I

Rank No.	Name
1	12 Aquira Stanley
2	11 FUKUJIRO
3	9 小林 賢二
4	36 SKY Chen
5	77 MUSASHI
6	86 福田 幸平

RESULT リザルト Cup II

Rank No.	Name
1	44 島下 泰久

RESULT リザルト Open

Rank No.	Name
1	99 佐野 新世



Inter Proto Series Round 1-2 Review



Inter Proto Series
Round 1-2
Gentleman Driver

今シーズンもチャンリオンレースと併催のこのシリーズだが、今年は別の日程で耐久も開催されることになっている。今回は1・2戦がCCS-Rと混走で行なわれる。まずインタープロト・CCS-Rのジェントルマンクラス、インタープロトは今シーズンからGとEのクラスに分かれる。予選でトップタイムはE 36 Faust Racing Team IPS 堀 主知ロバート 2'02.536。CCS-R は5 LEXUA IS F CCS-R 今井孝 2'04.978。決勝ではスタートを好ダッシュで決めた37 KeePer IPS-01 畠中修が1コーナーでトップに立つ、その後19 Pasarレーシングカー Yuke Taniguchiと激しいトップ争いの末15週のレースを守りきった。CCS-Rは3番手スタートの52 Green BraveCCS-R 平沼貴之が優勝。37 畠中は「スタート決められました！」と話していた。日曜の第2戦ではボールの37 畠中也好スタートを決めるものの2周目には19 Yuke Taniguchiがトップに立つ、その後も激しい戦いは続き、トップ3台がコンマ差でチェッカーの中、19 Yukeが逃げ切った。2位には50 B-MAXインタープロト DRAGON、3位は37 畠中。19 Yukeは「ブロックしないと勝てなくなった」と話している。CCS-Rは52平沼が連勝。Gクラスは1・2戦とも16 ララパルーザ 渡邊久和が優勝した。

Round1



IPS-Expert

RESULT リザルト IPS-E

Rank No.	Name
1	37 畠中 修
2	19 Yuke Taniguchi
3	3 FLYING RAT
4	4 AKIRA
5	36 堀 主知ロバート
6	50 DRAGON



IPS-Gentleman

RESULT リザルト IPS-G

Rank No.	Name
1	16 渡邊 久和
2	7 とおる君



CCS-R

RESULT リザルト CCS-R

Rank No.	Name
1	52 平沼 貴之
2	51 卜部 治久
3	38 堀田 誠
4	5 今井 孝
5	87 疋田 亮

Round2



IPS-Expert

RESULT リザルト IPS-E

Rank No.	Name
1	19 Yuke Taniguchi
2	50 DRAGON
3	37 畠中 修
4	3 FLYING RAT
5	4 AKIRA
6	36 堀 主知ロバート



IPS-Gentleman

RESULT リザルト IPS-G

Rank No.	Name
1	16 渡邊 久和



CCS-R

RESULT リザルト CCS-R

Rank No.	Name
1	52 平沼 貴之
2	5 今井 孝
3	38 堀田 誠
4	87 疋田 亮

Inter Proto Series
Round 1-2
Professional Driver



プロフェッショナルクラスは土曜日の予選でポールポジションを決めたのは37 KeePer IPS-01 中山雄一1'58.621、続いて4 RSS 広島トヨペットIPS 平川亮が1'58.732。CCS-Rは51 P.MU RACING CCS-R 脇坂薫一が2'02.724でトップ。決勝第1レースでは2周目に4平川が1コーナーで前に出る、その後も各所でバトルが繰り広げられるがそのままトップでチェッカーを受けた。

CCS-Rは52脇坂の逃げ切り優勝。第2レースも4平川がポールポジションからスタートし、そのままポールトゥウィンを飾った。CCS-Rも同じように51脇坂がポールトゥウィンで開幕2連勝を挙げた。4平川は「良いマシンに仕上げてくれたチームに感謝です」と話し51脇坂は「楽しいレースができました」とコメントしていた。

Round1

IPS



RESULT リザルト IPS

Rank No.	Name
1	4 平川 亮
2	37 中山 雄一
3	7 山下 健太
4	16 Ronnie QUINTARELLI
5	19 黒澤 琢弥
6	50 高星 明誠
7	3 国本 雄資

CCS-R



RESULT リザルト CCS-R

Rank No.	Name
1	51 脇坂 薫一
2	87 新田 守男
3	38 阪口 良平
4	52 番場 琢
5	5 小林 敬一

Round2

IPS



RESULT リザルト IPS

Rank No.	Name
1	4 平川 亮
2	37 中山 雄一
3	16 Ronnie QUINTARELLI
4	7 山下 健太
5	3 国本 雄資
6	50 高星 明誠
7	19 黒澤 琢弥

CCS-R



RESULT リザルト CCS-R

Rank No.	Name
1	51 脇坂 薫一
2	52 番場 琢
3	87 新田 守男
4	5 小林 敬一
5	38 阪口 良平